

脱炭素経営×人材エンパワメント

ー コミュニティを核とした脱炭素経営支援体制の構築 ー

令和7年3月5日

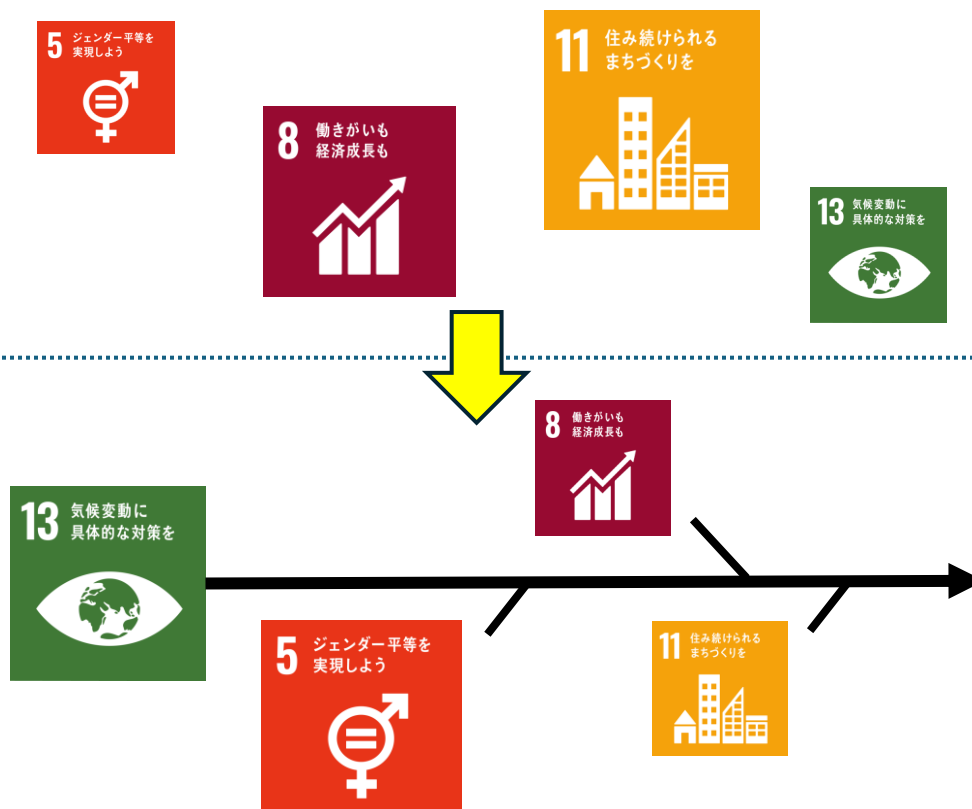
愛媛県今治市

1.背景、これまでの取組、取組意義

■ 現状

- 脱炭素（施策）は、企業サイドも支援する側もノウハウ（情報）・マンパワー・費用不足であり、地域での取組のプライオリティ低い
- 産業特性的に（製造業中心）女性の就業率が低い（やりたい仕事が見つからない、知らない）

- 経営課題と脱炭素化の取組等につながらずを見出し、脱炭素化を自分ごと化してもらう
- 働きがいや住み心地のよさについても、ストーリーを組んで一本化する。



■ 方法論 → 描いたビジョン

『シナジーを生む価値ストーリーの構築』
×
『戦略的イメージコントロール』

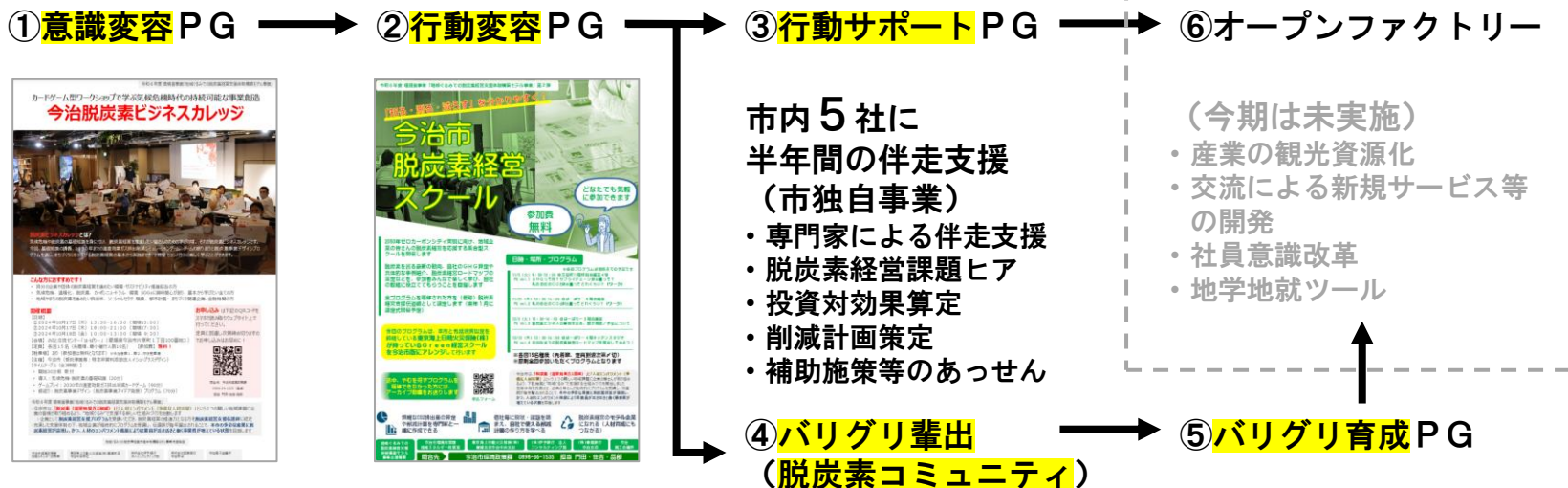
佐藤可士和『日本ブランド戦略2020-国家ブランドについての提言-』内閣府資料から引用



中長期的な地域の将来ビジョンを
脱炭素経営（経営コスト削減等）を女性等多様な人
材の働きやすさ・働きがいにつなげることで、多様な人
材の新たなエンパワメントとなり、企業の人材不足や地域課題で
ある女性転出超過の解消に寄与するとした。

2-1.初動モメンタムの創出

■ 構築した脱炭素経営支援PGの流れ（黄色塗潰しは実施済）



全3回実施
（1回3H）

延べ40名が参加

- ・基礎知識
- ・GHG削減シミュレーション
カードゲーム等

全4回実施
（1回2.5H）

毎回25名以上が出席

- ・自社のGHG排出量を「知る」「測る」「減らす」
を実践形式で楽しく学習
- ・包括連携協定先（東京海上日動）のツールをカスタマイズして実施



バリグリー19名誕生！
男性10名、女性9名

2/22開催

市のあるべき姿からバリグリーの

- ・役割
- ・支援・サポート体制
等を支援機関とバリグリーで討議

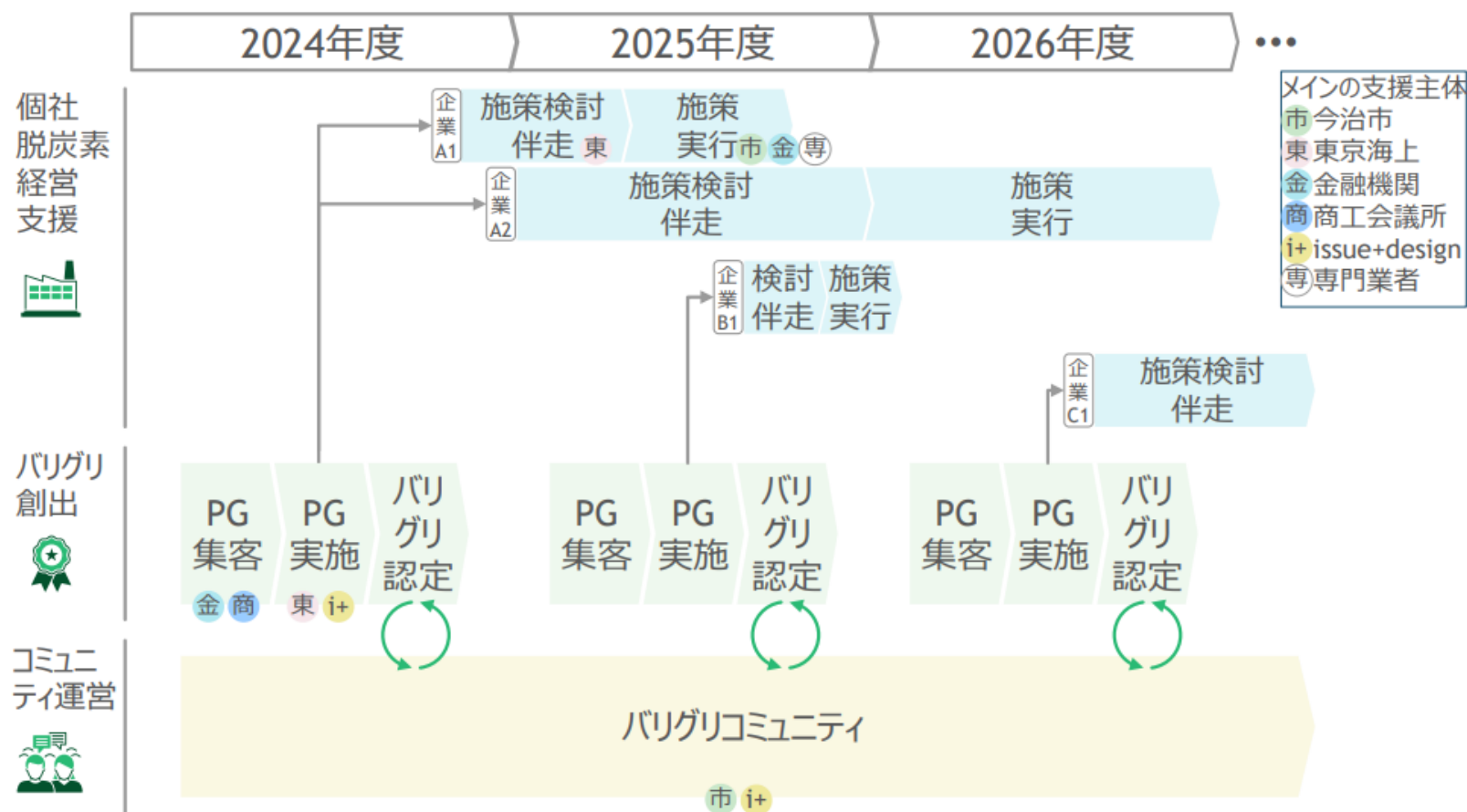


瀬戸内の新しい風
むすぶイマバリ!



2-1.初動モメンタムの創出

■ 構築した脱炭素経営支援PGにおける役割分担



2-3. 基盤の整備

■ ロジックツリー＝**バリグリ**を地域の脱炭素経営の**発案者、発信者、担い手**とするために

バリグリの自社及び地域での活躍を通じて、今治市の目指す姿の実現に繋げる

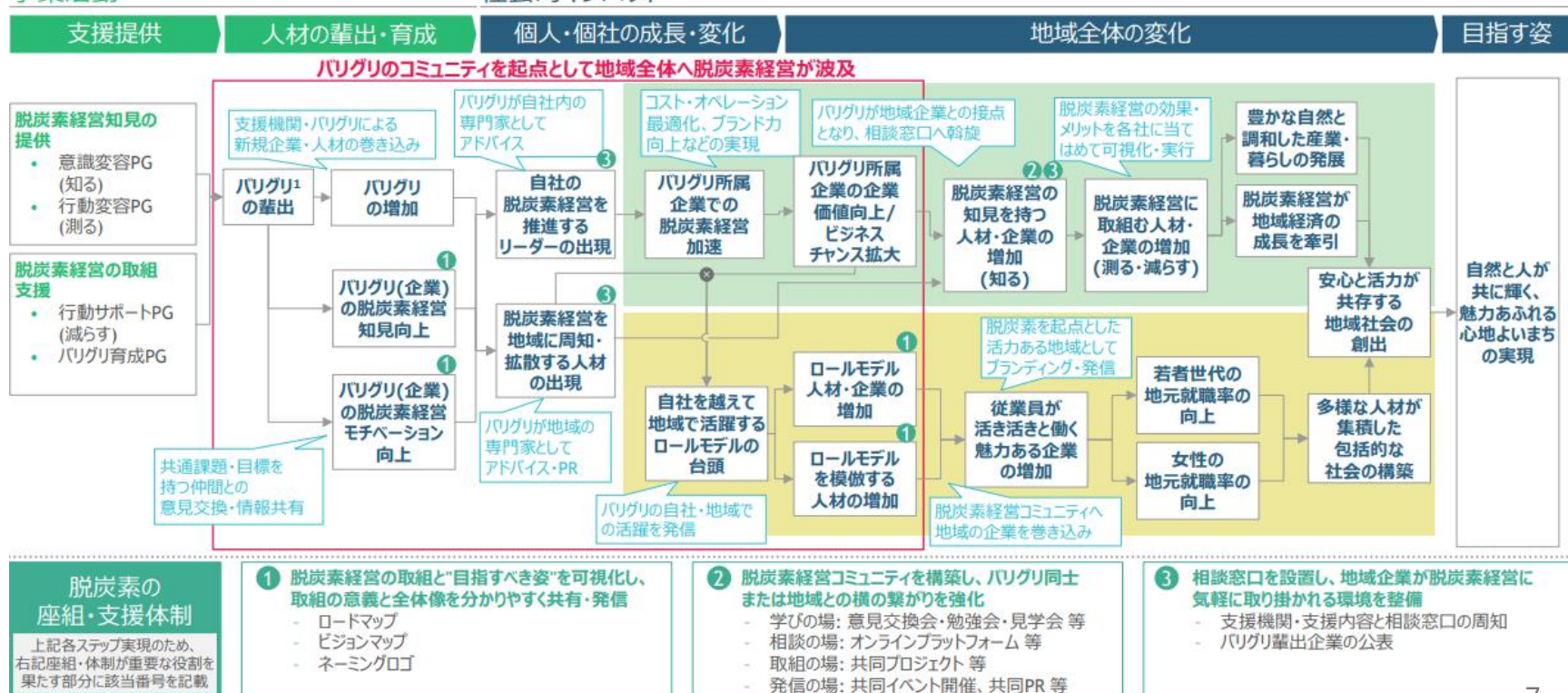
ロジックツリー：脱炭素経営の取組による今治市の目指す姿までの道筋

事業活動

社会的インパクト

脱炭素経営の浸透

人材エンパワメント



1. 今治グリーンフェローの略称。脱炭素経営の知見を持ち、今治市の脱炭素経営を牽引していく伝道師





よーに聴いてくれてありがとおね～
今治は脱炭素をコミュニティで盛り上げていくけんね～